

デジタル特化。

世の中が変化しています。今の大人たちが子どもだった頃の時代の何倍も早く。誰しもが変化に適応出来る訳ではなく、その流れに抗う事も出来ず、難しい選択をお子様達は迫られています。

昔、読み書きを基本とした様に、現代はデジタルへの深い理解が、その後の人生を豊かにする

Harmony

ために欠かせない手段となりつつあります。では、療育の一環として、正しいデジタルとの関わりをご提案しています。お子様たちのコミュニケーション力向上を実現するツールとして、そして、社会生活を豊かに、安全に暮らす手段として、デジタルを駆使できるようにと。



HarmonyではVRでのSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を導入致します。社会生活における様々なシリアルに体験し、訓練できる取り揃えております。**(VR)**

学校現場でもデジタル教科書の入口は一人一台のタブレット」。役割は、日常における情報の入口出口として、そして、としても、無くてはならない必須のアイテムとなっています。

普及が進みます。さらに、スマートフォンの移動決済手段



【タブレット・スマホ】

スマホやタブレットに慣れたお子様たちは、いざ就労職業人となつた時、パソコンでの操作に直面し、戸惑います。そこで、Harmonyでは、「タイピング」「ローマ字入力」「Excel」「Word」等の基本を活動に取り入れ、パソコンへの入門を手伝いしています。

【PC】



コミュニケーションが苦手なお子様は人が相手だとその表情や動作の複雑さに情報パニックを起こすこともあります。ですが、ロボットの限られた表情や動作は、自閉症傾向のお子様達には安心感を与えるようです。挨拶や人との関わりの基本をロボホンの「はーもくん」と一緒に学びます。

さらには、プログラミング学習へと進んでいきます。

【ロボット】



【ゲーム】

ゲームは、論理的に戦略を練り対戦相手の心理を読む行為です。成長期のお子様はゲームを通して心理面の成長や、順番を守る等の社会生活のルールも学んでいきます。



一般社団法人 青葉の杜
放課後等デイサービス

<https://aobanomori-harmony.com/>

Harmony



※各事業所ごとに取り組みは多様で異なります。